

日仏美術学会第120回例会のご案内

日時： 2011年12月17日（土） 14時30分～17時15分
場所： 京都大学文学部 新館2階 第6講義室（京都市左京区吉田本町）
市バス「京大正門前」下車すぐ／京阪電車「出町柳」駅下車徒歩12分

美術批評の言語

—エミール・ゾラと「タシュ」の概念を中心に—

発表者と発表題目：

- 1 林信蔵（京都大学非常勤講師） 14時30分—15時10分
「エミール・ゾラにおける諸芸術の混淆
—イメージ・テキスト・音楽の相関関係をめぐって—」
- 2 藤原貞朗（茨城大学人文学部） 15時20分—16時00分
「マネの筆致をどう 記述するか（3）
—（タシュ）とゾラの撞着語法—」

【質疑応答（全体討論）】 16時15分—17時15分

コメンテーター： 寺田 寅彦（東京大学大学院総合文化研究科）

コーディネーターと司会： 吉田典子

連絡先： 神戸大学大学院国際文化学研究科

Tel： 078-803-7488 (dial in) e-mail： ynoriko@kobe-u.ac.jp

日仏美術学会

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25 日仏会館内

Tel/Fax: 03-3280-2415 e-mail: art-francojaponais@digital.email.ne.jp